

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり11.3人の報告がありました。報告数は減少していますが、注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も10件報告されており、学校などの集団生活の場では、引き続き注意が必要です。

健康管理に注意し、流水・石けんによる手洗い、咳エチケットの励行など感染予防対策を徹底しましょう。

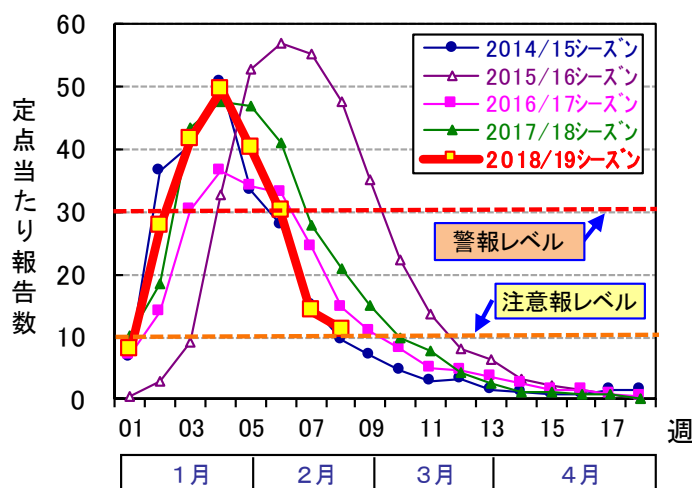
2. RSウイルス感染症

定点当たり0.88人と、例年同時期と比べて多くなっています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、感染を避けるための注意が必要です。

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均（注） 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均（注） 過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	419	11.32	21.75	◇	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.47	
	咽頭結膜熱	10	0.42	0.19			RSウイルス感染症	21	0.88	0.23	▶
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	3.00	2.90	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	138	5.75	8.59	▶		流行性角結膜炎	4	0.50	0.38	
	水痘	3	0.13	0.43		基幹	細菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	手足口病	1	0.04	0.24			無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	伝染性紅斑	8	0.33	0.35			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09	
	突発性発しん	4	0.17	0.29			クラミジア肺炎（オウム病を除く）	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.06			感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2	0.29	0.88	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	◇	◇	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	◇	◇	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	◇	◇	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	7	29	男性(40歳代)・2人、女性(40歳代)・1人、男性(50歳代)・2人、男性(60歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	2	男性(80歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	5	女性(60歳代)、男性(80歳代)
5	梅毒	2	11	男性(40歳代)、男性(60歳代)
5	百日咳	2	10	女性(40歳代)、女性(50歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ 球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(ロタウ イルス) 感染性 胃腸炎
報告 数	広島市	第4週	1,834	2	83	158	5	2	2	8	1	1	13	-	3	-	-	-	-	-
		第5週	1,493	10	63	204	2	-	5	3	-	4	8	-	3	-	-	2	-	1
		第6週	1,082	3	59	183	8	-	4	6	-	3	11	1	-	-	1	-	-	3
		第7週	524	3	53	150	6	1	6	3	-	-	13	-	2	-	-	1	-	1
		第8週	419	10	72	138	3	1	8	4	-	2	21	-	4	1	1	-	-	2
定 点 当 た り	広島市	第4週	49.57	0.08	3.46	6.58	0.21	0.08	0.08	0.33	0.04	0.04	0.54	-	0.38	-	-	-	-	-
		第5週	40.35	0.42	2.63	8.50	0.08	-	0.21	0.13	-	0.17	0.33	-	0.38	-	-	0.29	-	0.14
		第6週	30.06	0.13	2.57	7.96	0.35	-	0.17	0.26	-	0.13	0.48	0.13	-	-	0.14	-	-	0.43
		第7週	14.16	0.13	2.21	6.25	0.25	0.04	0.25	0.13	-	-	0.54	-	0.25	-	-	0.14	-	0.14
		第8週	11.32	0.42	3.00	5.75	0.13	0.04	0.33	0.17	-	0.08	0.88	-	0.50	0.14	0.14	-	-	0.29
	全国	第6週	26.28	0.33	2.52	6.03	0.29	0.13	0.57	0.29	0.01	0.09	0.42	0.02	0.64	0.03	0.02	0.18	-	0.13
		第7週	12.49	0.30	2.07	5.09	0.26	0.10	0.50	0.28	0.02	0.07	0.41	0.01	0.54	0.01	0.02	0.13	-	0.13

■新たに判明した病原体検出状況

新たな検査結果はありません。

★麻しん(はしか)、風しんの予防接種を受けましょう！

昨年7月以降、風しんの流行が続いています。また、全国において、麻しん患者の報告が続いており、中でも、関西地方で患者数が増加しています。2019年は、第7週現在、風しんが528件、麻しんが222件報告されています。

【麻しん】

約10～12日間の潜伏期間の後、発熱や咳、鼻水などの風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。

【風しん】

約2～3週間の潜伏期間の後、発熱、発しん、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。また、妊娠初期の女性が感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群(難聴、白内障、心疾患等)を発症することがあります。

麻しん、風しんはワクチン接種で予防可能な感染症です。定期予防接種(無料)対象の方は早めに接種しましょう。また、過去に麻しんや風しんにかかったことがない方で、予防接種を受けていない方は、予防接種を受けましょう。

【参考】

- ・麻しんについて(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html
- ・風しんについて(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/
- ・麻しん(はしか)風しんの予防接種を受けましょう！(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1204083272907/index.html>
- ・3月1日～3月7日は「子ども予防接種週間」です！(健康推進課)
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1297321349296/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第8週(2月18日～2月24日)